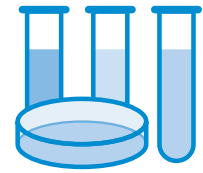


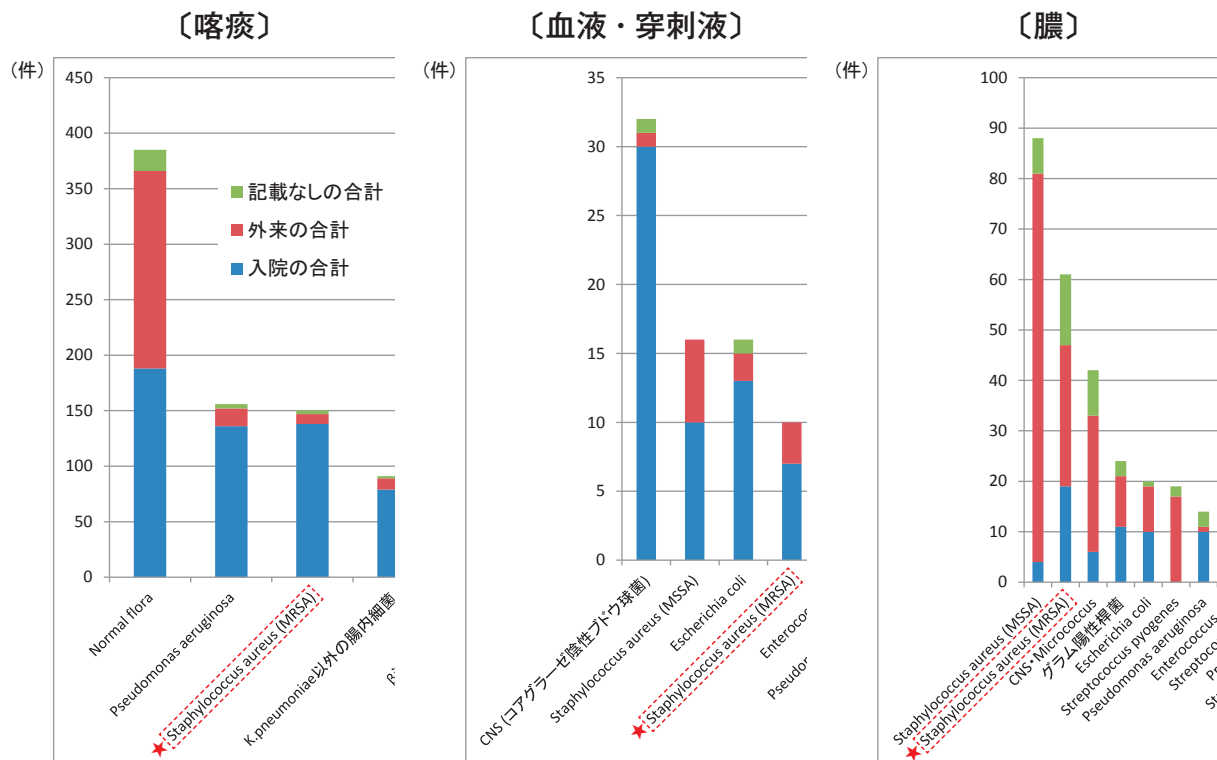
## 細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)



当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、喀痰、血液・穿刺液、膿から多く検出されている、メチシリン耐性 *Staphylococcus aureus* (MRSA) の細菌検出状況と細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

### 【材料別細菌検出状況】



*Staphylococcus aureus* (以下 S.aureus) は通性嫌気性グラム陽性球菌で、ブドウ状の形態を示します。ヒトや動物の皮膚、鼻腔、腸管に常在しており、喀痰や膿、血液・穿刺液など様々な臨床材料から分離されています。ヒトの皮膚化膿性疾患や中耳炎、肺炎、敗血症、食中毒などの原因菌となります。

S.aureus はメチシリンに対する感受性の違いによりメチシリン感受性 S.aureus (MSSA) とメチシリン耐性 S.aureus (MRSA) の2つに分けられます。

MRSA は医療関連感染において重要な原因菌です。感染予防策として、標準予防策の徹底に加え、接触予防策を用いることが大切です。

## 【細菌薬剤感受性情報】

2018年11月分

## アンチバイオグラム (Staphylococcus aureus(MRSA))

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	0	0	100
	CTM	ハンスホリン	0	0	100
	CTR	ロセフィン	0	0	100
	CZOP	ファーストシン	0	0	100
	CMZ	セフメタゾン	0	0	100
	FMOX	フルマリ	0	0	100
セフェム系経口薬	CFDN	セフゾン	0	0	100
	CFPN	フロモックス	0	0	100
	CDTR	メイアクト	0	0	100
カルバペネム系	IPM	チエナム	0	0	100
	TBPM	オラベネム	0	0	100
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	0	0	100
	ACV	オーグメンチン	0	0	100
	STC	ユナシン	0	0	100
アミノグリコシド系	ABK	ハベカシン	99	1	0
	GM	ゲンタシン	41	0	59
マクロライド系	CAM	クラリス	34	4	61
	AZM	ジスロマック	31	1	67
	CLDM	ダラシン	34	0	66
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	70	18	12
その他抗菌薬	FOM	ホスミン	68	9	23
	VCM	バンコマイシン	100	0	0
	TEIC	タゴシット	100	0	0
	DAP	キュービシン	100	0	0
	CP	クロロマイセチン	99	1	0
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	17	1	83
	TFLX	オゼックス	21	2	77
	GRNX	ジェニナック	94	0	6
	LZD	ザイボックス	100	0	0

MRSAは代表的な薬剤耐性菌の一つで、染色体上に mecA という耐性遺伝子を持っています。この遺伝子が PBP2' という酵素を産生することでβ-ラクタム系抗菌薬に耐性を示します。

MRSAの治療薬であるバンコマイシン(VCM)、タゴシット(TEIC)、キュービシン(DAP)、ザイボックス(LZD)、ハベカシン(ABK)は現在も高い感受性率を示しています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。

<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>  
検査科微生物係